

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コベルプラス弁天町教室		
○保護者評価実施期間	2025年9月24日		~ 2025年10月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 34	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年9月24日		~ 2025年9月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育のため、お子さまおひとりおひとりとしっかり向き合うことができ、それぞれのお子さまに寄り添った療育を行うことができる。	毎回同じ指導員が担当するのではなく、在籍している指導員が順番に担当するシステムのため多角的にお子さまを見ることができるようになっている。 また、毎回レッスン後に指導員同士で情報共有をしているためより深くお子さまに寄り添った支援を行える。	より支援の質を向上させるため、レッスン前後の申し送りとは別に、お子さまに関する定期的なカンファレンスを実施。これにより、現状の到達点と次段階の目標について指導者全員の認識を一致させ、一貫性のある支援を行う。
2	毎回療育後に保護者様へフィードバックを行うため、その日のご様子や今後の支援方針について、その場でお伝えすることができる。	療育についてだけでなく、園でのご様子やご家庭でのご様子もお話して下さる保護者様もいらっしゃるの、傾聴することを徹底している。	フィードバックの際はお子さまが頑張ったことはもちろん、取り組んだ課題の目的や、今後の見通しなども具体的にお伝えできるようにしていく。
3	支援の質を維持・向上させるため、指導員ひとりひとりが常に学び続ける姿勢を持ち、各種研修への参加や自主的な学習を継続的にしている。	知識の偏りをなくし多角的な視点を得るため、自社開催の研修に加えて外部(他事業所様主催)の研修にも積極的に参加し、知見を広げている。	他教室や事業所と連携を取り、他事業所での取り組みを見学させていただく実践的な交流の機会を設けることができると嬉しい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室の特性上、生活支援が少ない傾向にある。	フラッシュカードやSST等感情面への支援に特化しているため。	生活面の支援へとつながるよう個別支援課題に生活動作のフラッシュカードや実際に生活動作がある課題を取り入れていく。
2	職員は定期的に避難訓練等を行い安心して来所していただける環境づくりをしているがご利用者様への周知ができていない。	全てお子さまがいない時間帯の職員のみでの訓練だったため改めてご利用者様への周知はしていなかった。	連絡ツールなどを利用してご利用者様にも周知していく。
3			